

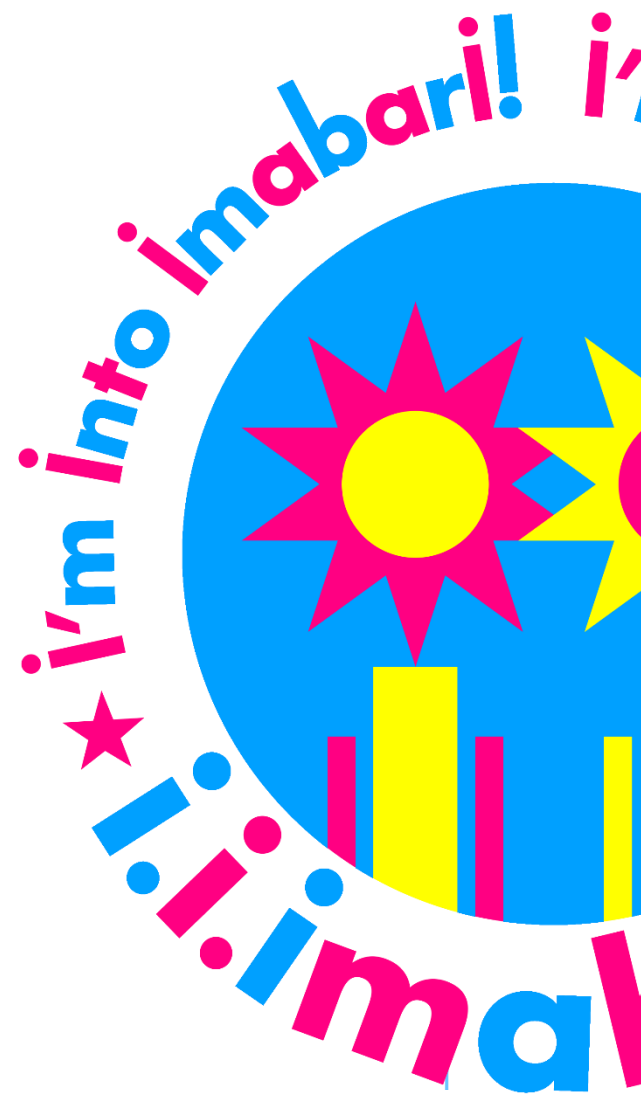
第一回市民が真ん中検討委員会資料

今治市の

市民参画の現状と

市民アンケート結果

2021年11月1日 今治市 市民生活課



市民参画とは

- 「**市民参画**」とは、一般的に、市が重要な計画や政策などを企画・実施・評価するにあたって、市民が民主的に参加して意見を反映させ、市民が主体となるまちづくりを推進することを言います。
- 「**市民参加**」が既に決定された事業やイベントに個人や団体レベルで参加したり、あるいは個別に活動したりすることを指すのに対し、
「市民参画」はそれよりも一歩踏み込んで、市が行う施策や事業の計画や決定の段階から、市民が主体的に市政に関わっていくことを指します。



今治市の 市民参画の現状

市民参画の制度について

- 今治市には、市民参画全般について明文化した制度はない。
- 個別の制度については、「今治市パブリックコメント実施要綱（平成22年4月1日施行）」がある。
- 他の自治体では「市民参画推進指針」「市民参画要綱」「市民参画条例」などを定めているところもある。
 - （例）愛媛県愛南町「愛南町住民参画推進条例」
（平成22年4月1日施行）

市民参画の主な種類

- ① ホームページや広報（情報の公開）
- ② 委員会や審議会（市民や有識者による会議での審議、検討）
- ③ アンケートやパブリックコメント（市民の意見の収集）
- ④ 住民説明会や出前講座（行政が市民に対し説明）
- ⑤ ワークショップやタウンミーティング（市民と行政の意見交換）
- ⑥ 市長懇談会や議会説明会（市長や議員と市民が直接意見交換）
- ⑦ その他

※ 令和元年度末以降は新型コロナウイルス感染症対策のため、人が実際に集まる出前講座などの回数が減少しています。

① ホームページや広報

広報誌、ホームページ、SNSなどで市政に関する情報を発信しています。

広報誌	広報今治	毎月1回発行。今治市ホームページ上でも閲覧可能。
コミュニティFMラジオ	FMラヂオバリバリ	「今治市民の広場」など4番組で市政情報を発信中。 スマートフォン用アプリ「TuneIn Radio」でも聴取可能。
今治市ホームページ	公式HP	https://www.city.imabari.ehime.jp/
ソーシャルメディア (SNS)	LINE	今治市公式LINE 及び 消費生活センターLINE の2アカウント
	Facebook	今治市公式、観光課、児童館 など10アカウント
	YouTube	今治市公式、移住・定住・交流情報 など4アカウント
	Twitter	今治市公式、防災、新型コロナ など6アカウント
	Instagram	観光、健康、今治市PR など5アカウント

今治市HP「今治市ソーシャルメディア公式アカウント一覧」 <https://www.city.imabari.ehime.jp/kouhou/sns/>

②委員会や審議会

委員会や審議会などの附属機関は、市の施策の企画・立案等に、市民や有識者、学識経験者などが調査、審議し、意見を述べるために設置されるものです。

委員の一部は、市民から広く公募されます。

開催情報や議事は今治市ホームページ上でお知らせしています。

(内容によっては非公開の会議もあります)

平成28年度～令和2年度 のべ開催回数 約2,500回※

※ ただし、うち約1,900回は介護保険認定審査会（非公開）

今治市HP「附属機関等会議情報」

<https://www.city.imabari.ehime.jp/kaigi/top.html>

③ アンケートや パブリックコメント

アンケート

- 市民の皆さんの意見や感想を、事業や施設の管理運営などに活かすため、アンケートを通じ意見を募集しています。
- 事業計画策定のための資料や、公的施設の利用者アンケートなどが含まれます。
- **平成27年度～令和2年度（6年間）**
実施回数 約**80**回

パブリックコメント

- 事業実施や計画策定に市民の意見を反映させるため、ホームページを通じて広く意見を募集するものです。
- **平成27年度～令和2年度**
実施回数 **23**回
そのうち、意見があったのは**2**回
(計**9**名から計**40**件の意見)

今治市HP「パブリックコメント」

<https://www.city.imabari.ehime.jp/public/>

〈参考〉パブリックコメント実施状況

案件名	実施時期	日数	意見 人数	意見 件数
1 第6期今治市障がい福祉計画・第2期今治市障がい児福祉計画（案）に関する意見募集について	令和3年2月15日（月）から 令和3年3月1日（月）まで	15日間	0	0
2 第3期今治市地域福祉計画（案）に対する意見募集について	令和3年2月12日（金）から 令和3年2月26日（金）まで	15日間	0	0
3 第8期 高齢者福祉計画・介護保険事業計画（素案）に係る意見募集について	令和3年1月13日（水）から 令和3年1月27日（水）まで	15日間	0	0
4 今治市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画（案）に対する意見募集について	令和2年12月16日（水）から 令和3年1月5日（火）まで	21日間	0	0
5 今治市観光振興計画（案）に対する意見募集について	令和2年11月13日（金）から 令和2年11月26日（木）まで	14日間	0	0
6 今治市都市計画マスタープラン(案)に対する意見募集について	令和2年10月6日（火）から 令和2年11月4日（水）まで	30日間	0	0
7 今治市サイクルシティ推進計画（案）に対する意見募集について	令和2年2月19日（水）から 令和2年3月4日（水）まで	15日間	0	0
8 今治市男女共同参画計画（案）に対する意見募集について	令和2年1月27日（月）から 令和2年2月10日（月）まで	15日間	0	0
9 今治市地域公共交通網形成計画（案）に対する意見募集について	令和2年1月17日（金）から 令和2年1月31日（金）まで	15日間	8	29
10 第2期今治市子ども・子育て支援事業計画（案）に対する意見募集について	令和元年11月29日（金）から 令和元年12月13日（金）まで	15日間	0	0
11 今治市自転車ネットワーク計画（案）に対する意見募集について	令和元年10月23日（水）から 令和元年11月6日（水）まで	15日間	0	0
12 今治市自殺対策計画（案）に関する意見募集について	平成31年1月7日（月）から 平成31年1月21日（月）まで	15日間	0	0
13 第二次今治市環境基本計画（案）に対する意見募集について	平成31年1月4日（金）から 平成31年1月18日（金）まで	15日間	0	0
14 第2次今治市地産地消推進計画（案）に対する意見募集について	平成30年10月22日（月）から 平成30年11月5日（月）まで	15日間	0	0
15 第2次今治市食育推進計画（案）に対する意見募集について	平成29年9月19日（火）から 平成29年10月3日（火）まで	15日間	0	0
16 第二次今治市健康づくり計画（案）に対する意見募集について	平成29年2月10日（金）から 平成29年2月24日（金）まで	15日間	0	0
17 第10次今治市交通安全計画(案)に対する意見の募集について	平成29年1月13日（金）から 平成29年1月27日（金）まで	15日間	0	0
18 今治市有機農業振興計画（第2期）（案）に対する意見募集について	平成28年9月12日（月）から 平成28年9月26日（月）まで	15日間	0	0
19 今治市公共施設等総合管理計画（案）に関する意見募集について	平成28年1月4日（月）から 平成28年2月3日（水）まで	30日間	0	0
20 第2期今治市地域福祉計画（案）に対する意見募集について	平成28年1月8日（金）から 平成28年1月22日（金）まで	15日間	1	11
21 第2次今治市総合計画 基本構想（案）に対する意見募集について	平成27年9月28日（月）まで	-	0	0
22 今治市人口ビジョン（案）及び今治市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する意見募集について	平成27年9月28日（月）まで	-	0	0
23 今治市地域防災計画の修正（素案）に対する意見募集について	平成27年1月19日から 平成27年2月2日まで	15日間	0	0
計			9	40

④ 住民説明会や出前講座



住民説明会

- 市が行う事業などについて、職員が地域の住民に対して詳しく説明するための場を設けます。
- たとえば、公共工事や、公の施設の供用中止などにあたり開催されることがあります。
- **平成27年度～令和2年度**
実施回数 約110回

市政出前講座

- 市政の様々なテーマについて、市民の依頼に基づき、講座を開催する制度があります。
- 令和2年度は9分野72講座を用意。
- 開催回数と参加者数

年度	R02	R01	H30	H29	H28	H27
実施回数 (回)	53	101	107	106	108	74
参加人数 (人)	3,078	6,654	6,638	8,382	9,199	3,659

今治市HP「今治市市政出前講座」

<https://www.city.imabari.ehime.jp/kouhou/demaekouza/>

- これ以外にも、救急講習会などの講座を6年間で約**1,300**回実施しています。

⑤ ワークショップや タウンミーティング

- 体験型の講座や、住民と行政が協働で学習や研究を行うことを意味する**ワークショップ**は、今治市では平成28年以降、**ほとんど開催されていません**。
- **タウンミーティング**とは、住民と行政が地域の課題等について話し合う場のことです。規模の大きなタウンミーティングの実施はありませんが、地域の公園の管理運営の方法等について、地元の自治会などと市の間で小規模な話し合いを実施しました。

平成28年度～令和2年度 のべ開催回数 約200回

⑥ 市長懇談会 ・ 議会説明会

市政懇談会

- 市長と市民の意見交換の場として、「市政懇談会」を実施しています。
- 実施回数・参加者数（H29、30は未実施）

年度	R02	R01	H30	H29	H28	H27
実施回数 (回)	12	1	-	-	7	20
参加人数 (人)	485	100	-	-	633	1,956

議会報告会 ・ 意見交換会

- 今治市議会では、議員が市民へ議会活動を報告し、市民からの意見を市政に役立てるため、議会報告会・意見交換会を実施しています。
- 実施回数・参加者数（R02は未実施）

種別	意見交換会		議会報告会				
	年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26
実施回数 (回)		1	2	4	8	8	1
参加人数 (人)		21	42	169	408	436	-
アンケート 回答者数 (人)		21	41	138	349	-	75

今治市議会ホームページ「議会報告会」

<https://www.city.imabari.ehime.jp/gikai/houkokukai/>

⑦ その他

- 「市長へのメール」

今治市ホームページにから寄せられる「市長へのメール」に、市長から回答しています。
また、差し支えないものはホームページで公開しています。

今治市HP「寄せられたご意見と回答」

https://www.city.imabari.ehime.jp/mayor/q_a/



市民アンケート

結果

市民参画についての アンケート

今治市は
市民が真ん中のまちづくりを
推進しています



「市民参画」に関する
あなたの意見を聞かせてください。

……「市民参画」という言葉を知っていますか？……

……市民の声が市政に反映されていると思いますか？……

……どんな形で参画したいですか？……

アンケート期間 2021年9月30日まで

問合せ先

今治市役所 市民生活課

〒794-8511 今治市別宮町1丁目4番地1

電話番号：0898-36-1530

メール：seikatu@imabari-city.jp



←回答はオンラインで！

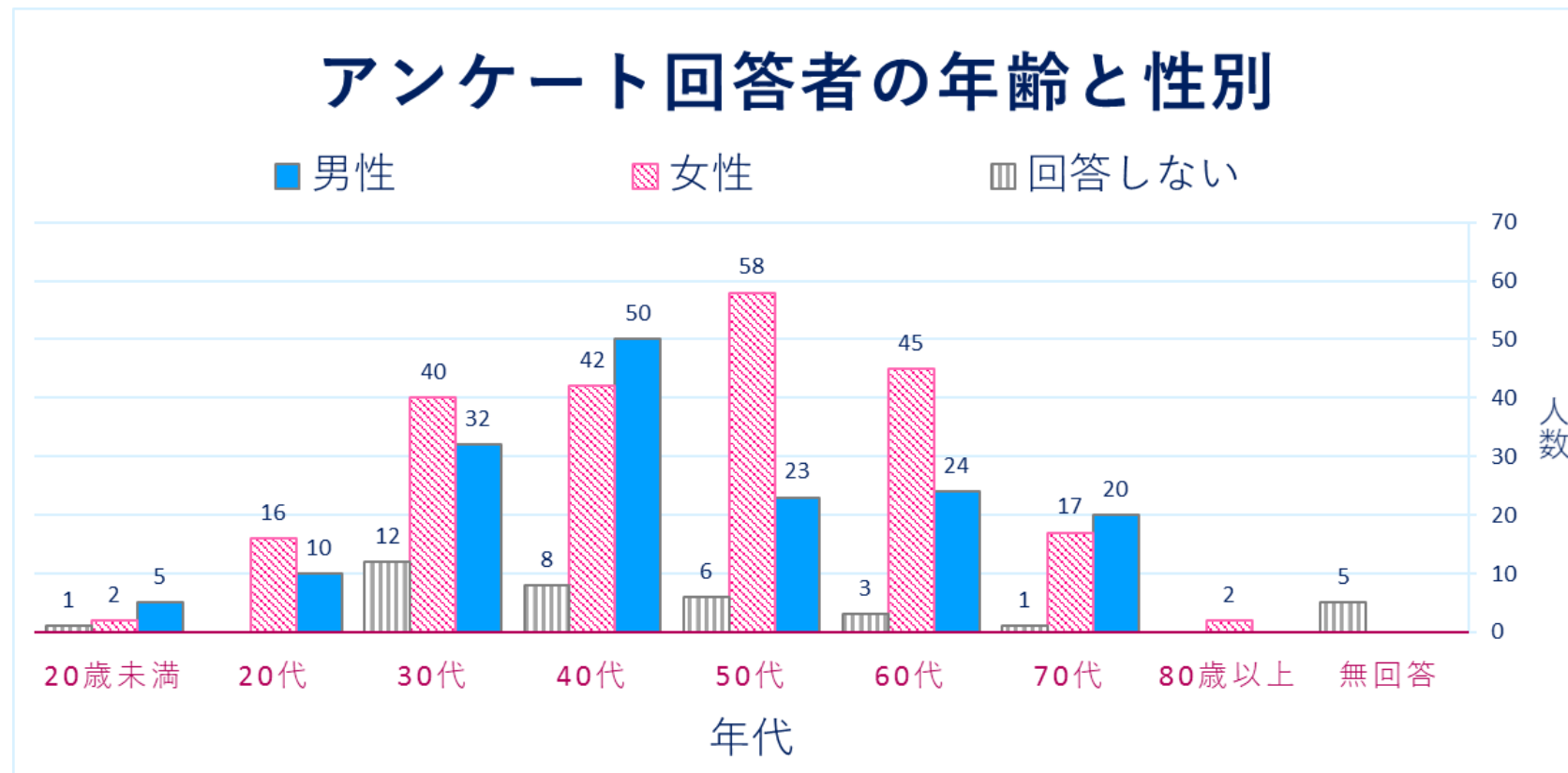
市民参画についてのアンケート

- 実施期間：令和3年9月3日～9月30日（4週間）
- 実施方法：オンラインアンケート
（今治市HP、LINE、Facebook、Twitter、ポスター等で告知）
補足的にアンケート用紙も市民生活課窓口などで配布
- 調査目的：市民参画の現状に関する市民の評価の把握
市民参画に対する意欲や、特に関心のある分野の把握
- 回答件数：422件

※ アンケート実施時点では、前項目「今治市の市民参画の現状」に関するデータはお示ししておりません。そのため、個人の知る範囲や、印象に基づき回答していただいています。

〈アンケート結果〉 回答者内訳

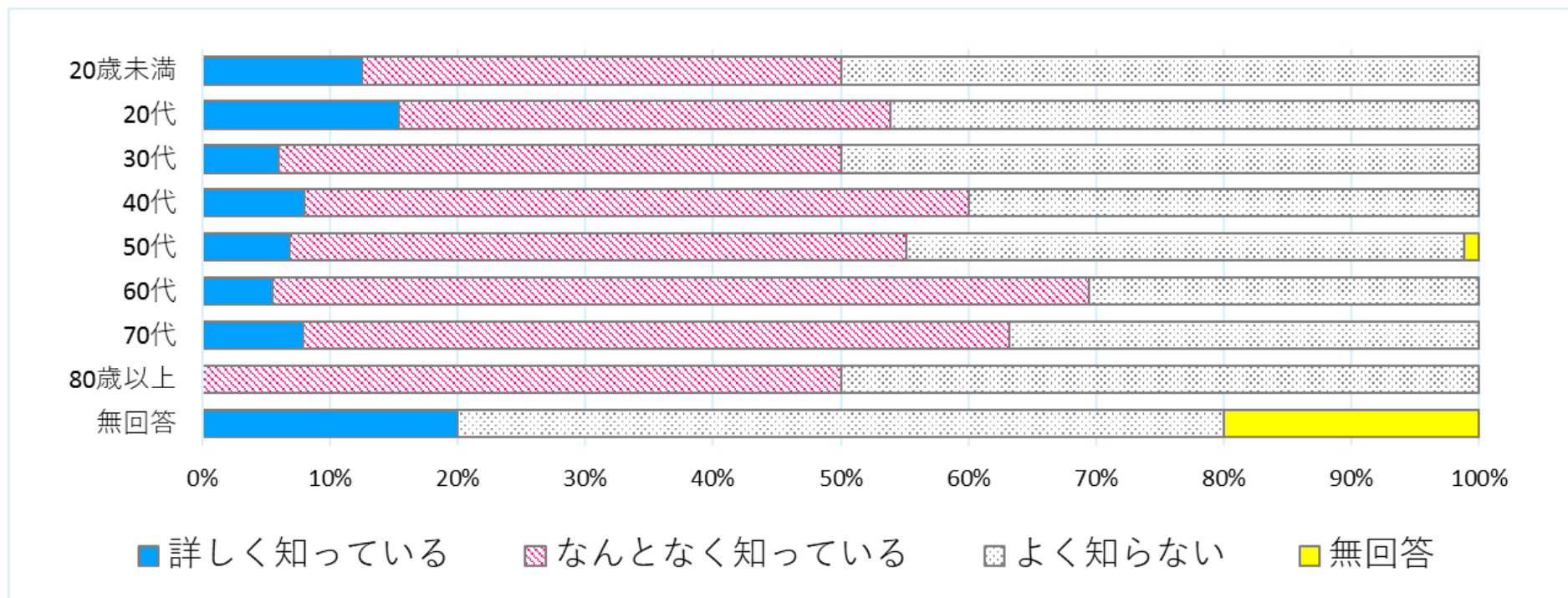
- アンケートの回答者は、**男性164名、女性222名、無回答36名**の、**計422名**でした。



〈アンケート結果〉

Q 1 市民参画という言葉を知っていますか。

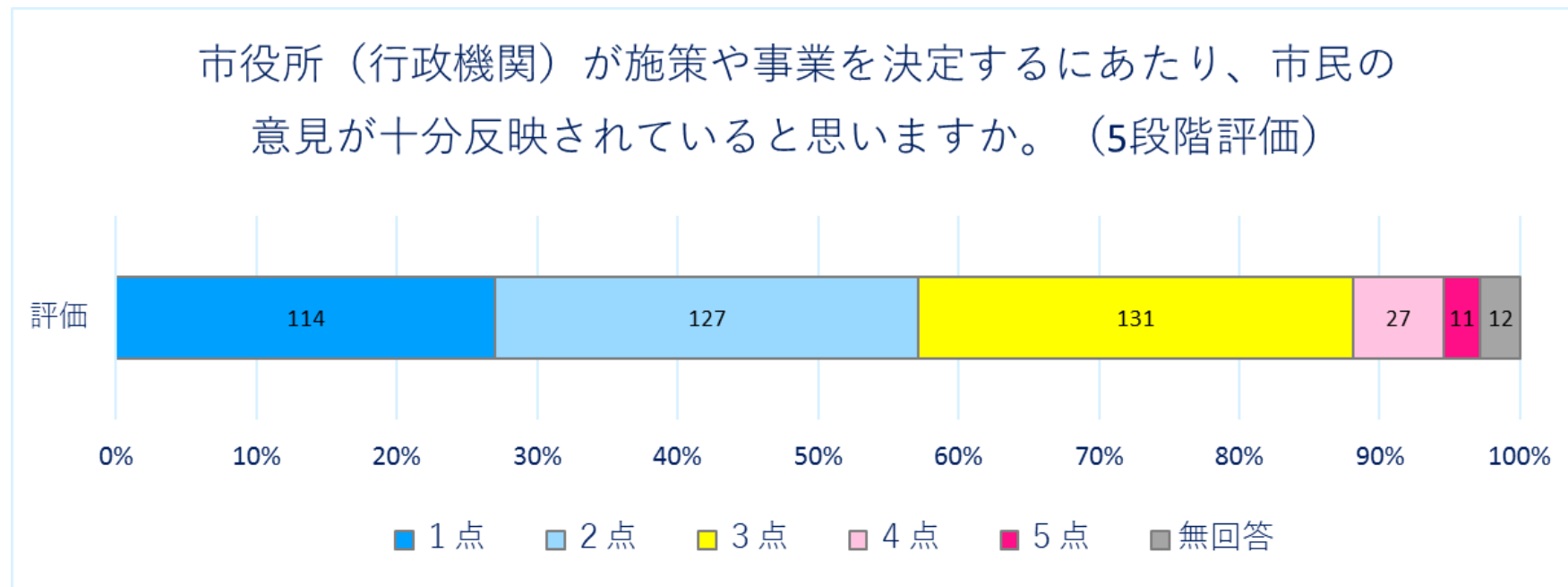
- 市民参画という言葉について「詳しく知っている」「なんとなく知っている」と回答した人を合わせると、全体の**57%**でした。



〈アンケート結果〉

Q2. 今治市において、市役所（行政機関）が施策や事業を決定するにあたり、市民の意見が十分反映されていると思いますか。五段階で評価してください。

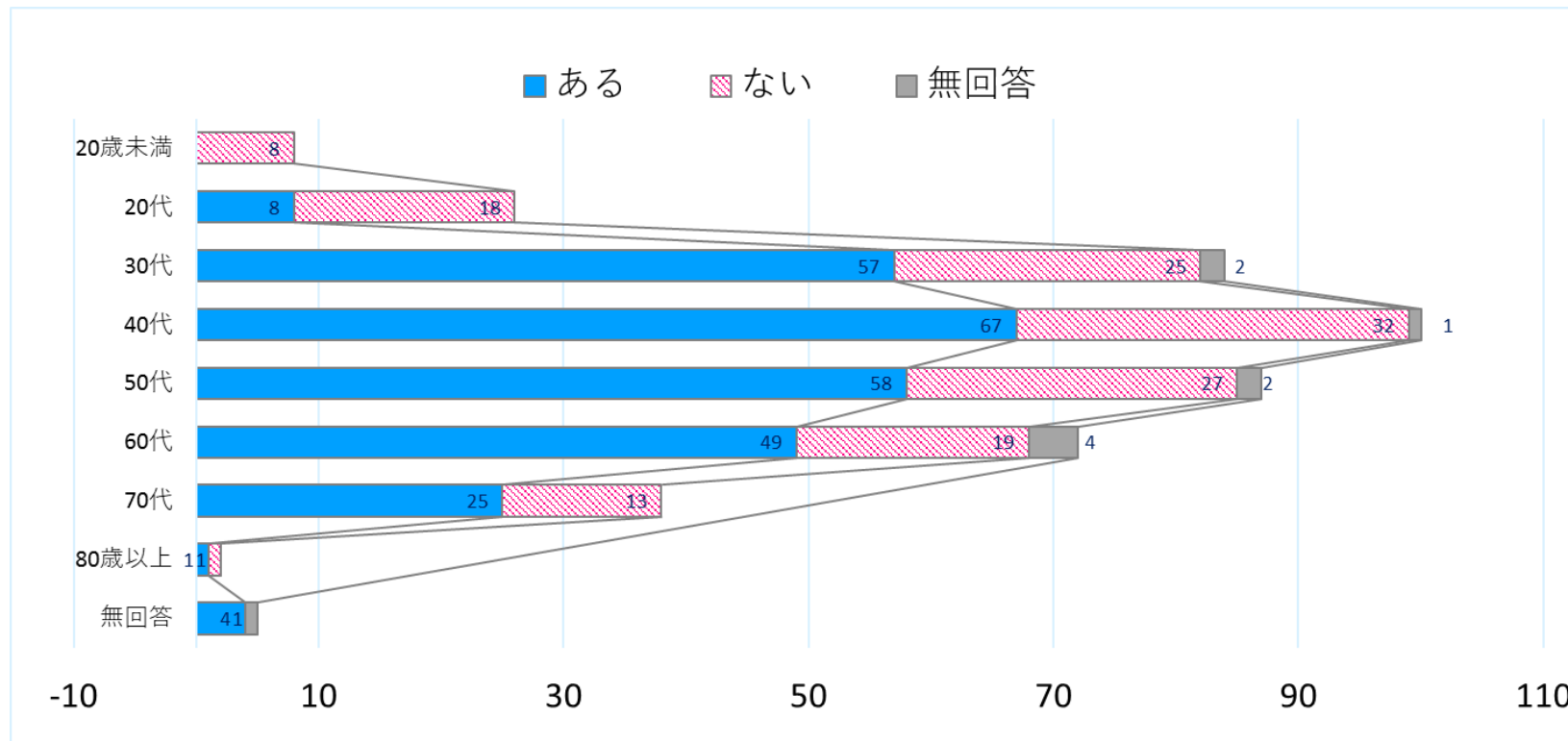
- 1点または2点と答えた方（**低めの評価**）の合計は**241人**で、全体の**57%**でした。
- 4点または5点と答えた方（**高めの評価**）の合計は**38人**で、全体の**9%**でした。



〈アンケート結果〉

Q3. これまでの市の施策や事業などで、もっと市民の意見を反映させてほしいと思ったことはありますか。

- 「ある」と答えた方は269人、「ない」と答えた方は143人でした。



Q 3. これまでの市の施策や事業などで、もっと市民の意見を反映させてほしいと思ったことはありますか。

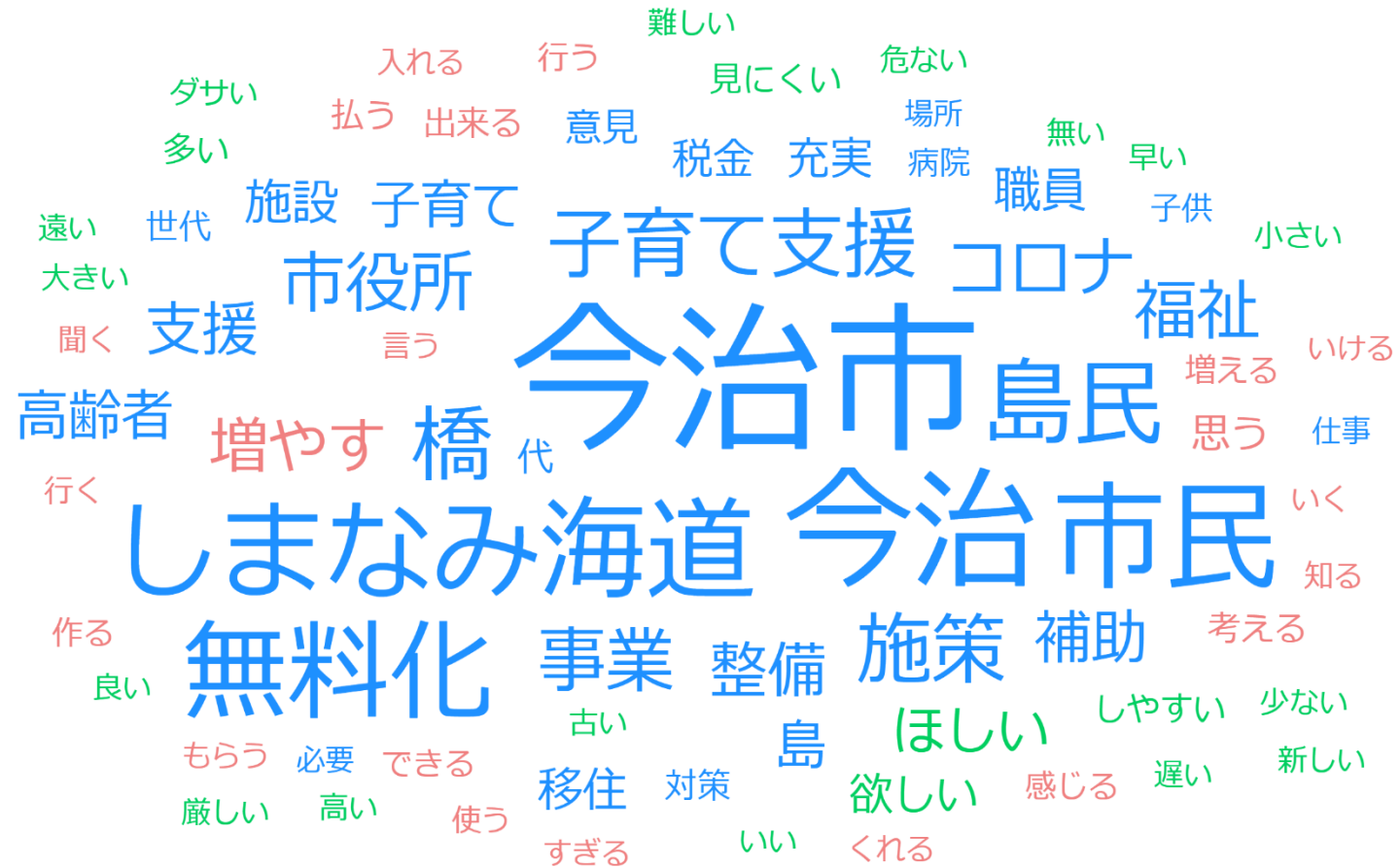
「ある」と答えた方の意見

217人の方から、様々な分野において、具体的な意見の回答がありました。

(意見の概要)

- しまなみ海道の無料化や減免について。
- 新型コロナウイルス感染症対策に関すること。
- 医療、福祉、子育て支援などに関すること。
- 大学の誘致に関すること。サッカー場の建設や、陸上競技場の整備に関すること。
- 下水道や水道の整備や、水道料金に関すること。
- 旧郡部の活性化や観光振興に関すること。
- 障害のある方の生活や学習、就業支援に関すること。

<参考> 市民の意見を反映させてほしいと思ったこと (ワードクラウド)



アンケート結果をAIで分析し、スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

(Userlocal AIテキストマイニング <https://textmining.userlocal.jp/>)

〈アンケート結果〉

Q4. 市民参画の方法にはおおむね次のようなものが考えられます。今治市の市民参画の現状を評価してください。（5段階）

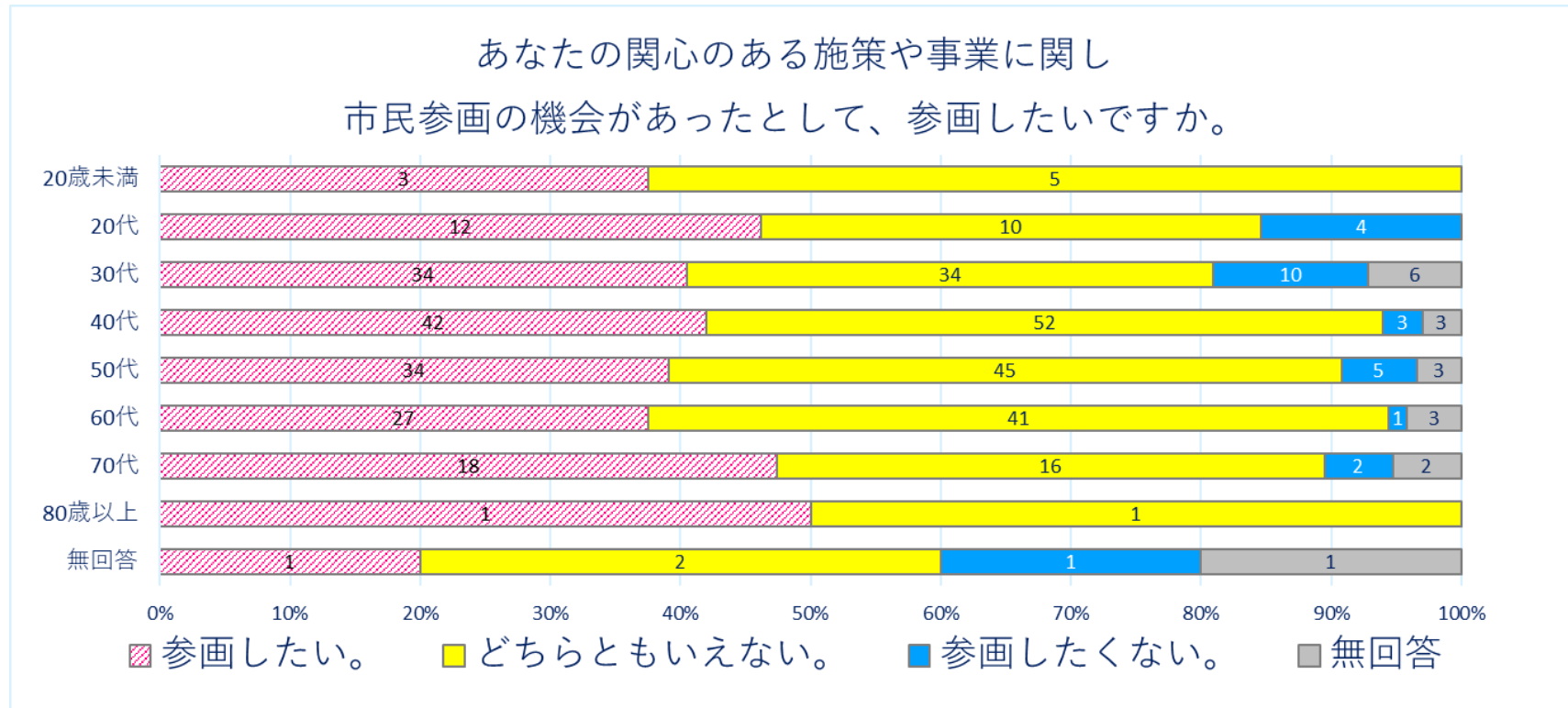
- 「HPや広報を通じたの情報公開」については、「まあまあ実施できている」の評価が多く得られました。
- それ以外の項目では「あまり実施できていない」の評価が多くなりました。

評価	HPや広報を通じたの情報公開	外部委員による委員会や審議会での審議	アンケートやパブリックコメントによる市民の意見の収集	住民説明会や出前講座など、市が市民に対し説明する場	ワークショップやタウンミーティングなど、市民と行政の意見交換の場	市長懇談会や議会説明会など、市長や議員と市民が直接意見交換する機会
十分に実施できている	70	21	29	23	23	25
まあまあ実施できている	229	132	118	124	117	107
あまり実施できていない	62	123	143	136	139	131
まったく実施できていない	20	22	47	54	53	64
わからない、よく知らない	26	93	52	51	59	64
無回答	15	31	33	34	31	31

〈アンケート結果〉

Q5. あなたの関心のある施策や事業に関し市民参画の機会があったとして、参画したいですか。

- 「参画したい」と答えた人は、全体の約**40%**でした。一方で、「参画したくない」と答えた人は**6%**でした。



〈アンケート結果〉

Q5. (続き：市民参画の機会があったとして) どのような形で参画したいですか。

- 「HPや広報を通じて情報を得る」や「アンケートやパブリックコメントで意見を伝える」といった、間接的な方法での市民参画に関しては、「積極的に参画したい」の意見が比較的多く見られました。
- 一方で、「委員会や審議会に委員として参加し、議論する」といった、直接議論に参加する方法については、「あまり参画したくない」という意見がやや多くなりました。

意欲	HPや広報を通じて情報を得る	委員会や審議会に委員として参加し、議論する	アンケートやパブリックコメントで意見を伝える	住民説明会や出前講座などの説明の場に出席する	ワークショップやタウンミーティングなどで、行政機関と意見交換する	市長懇談会や議会説明会などで、市長や議員と直接意見交換する
積極的に参画したい	103	29	102	58	48	51
可能であれば参画したい	191	143	198	171	169	156
あまり参画したくない	53	129	40	96	100	101
まったく参画したくない	6	19	8	12	14	17
わからない、興味がない	19	34	18	29	27	35
無回答	50	68	56	56	64	62

〈アンケート結果〉 Q 4 及び Q 5 (市民参画への方法や意向について) 「それ以外の方法」について記入してください。

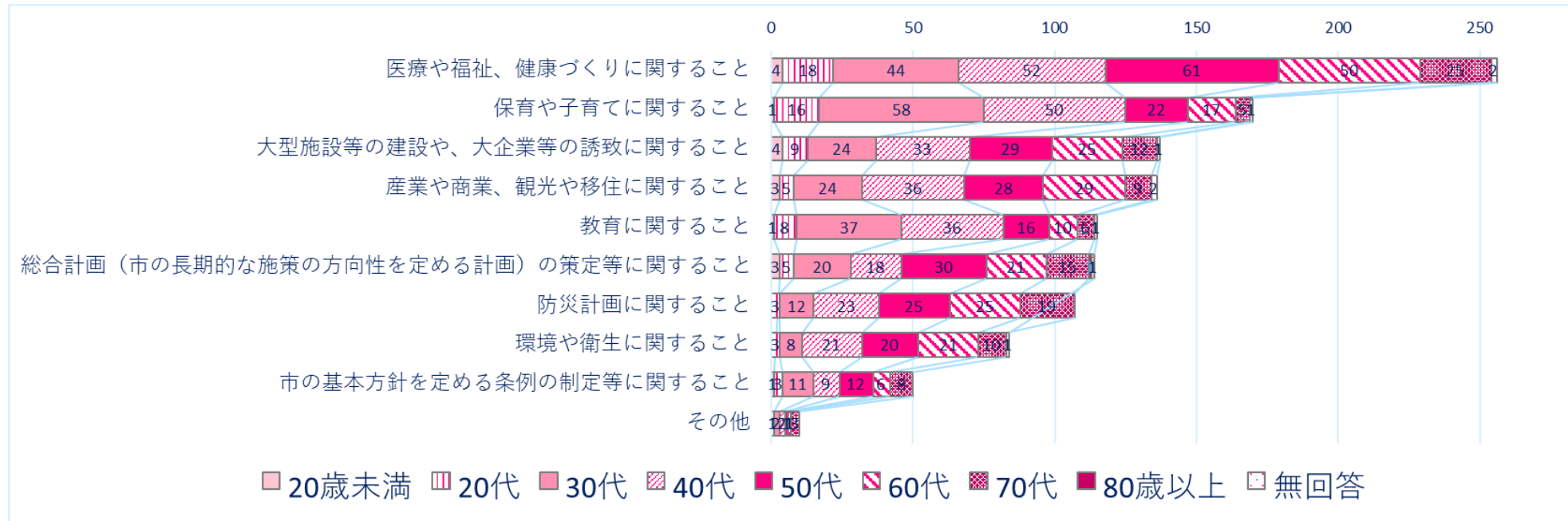
意見の一部を抜粋し、要約したものです。

- 既存の市民参画の接点はハードルが高く感じる。もっと同じ目線で、くだけた雰囲気の中で意見交換できる場が必要。
- 堅苦しくない方法。アンケートはいいと思います。
- 途中経過の報告は、広報、HP、防災ラジオの放送で知らせてもらえたら。
- 毎日、防災ラジオから徳永市長の声が聴けるのは嬉しい。
- ディスカッションをもっと積極的に行っていただきたい。
- 対価がないのに、参画を求められても、一部の裕福な方等、昔から変わらない方しか参加しないのでは？ ケースバイで対価も示すべきです。
- 市民と自治体とが協力して作り上げるイベントを開きたい。
- メールで意見を言うなど。返信コーナーがあればと思います。返事がないと「せいがない」。
- 市のホームページやLINEでの書き込みページが欲しいけど、書くだけでなく、返信が欲しい。
- LINEなどを通じ、仕事や家事で自分の都合の良い時に答えられるなら可能です。
- ネット環境を使い、どんどんとオープン形式で。一方、高齢者との共存には、変わらない部分も必要です。
- ホームページ以外のSNS (LINE、YouTubeなど) での情報発信や情報収集。
- 自治会で市長や市役所職員と意見交換する場を設ける。
- 市民にアイデアを募集してコンテストを行う。
- 電話で対応してほしい。

<アンケート結果>

Q6. 今治市では、どのような施策について、もっと市民の意見を反映させるべきだと思いますか。特に必要だと思う分野を3つ選択してください。

- 「医療や福祉、健康づくりに関すること」が、全ての年代で関心を集め**256件**ともっとも多くなりました。
- 次に「保育や子育てに関すること」が**170件**と多く、うち58件が30代の意見でした。



<アンケート結果>

Q7. 「市民参画」について、あなたの考えや意見、疑問など自由に記入してください。

147件の意見が寄せられました。そのうちの一部を抜粋します。（一部要約）

- 基本的には市民が選んだ市長、議員が決めればよい。個人の意見を聞いても自分にとって良いか悪いかの判断になり、今治市全体や将来の今治市のことまで考える人は少ないと思う。（40代男性）
- 幅広く意見を聴取できる仕組みをつくっていただきたい。各団体からは、市長に直接とかあると思うが、一般市民の声が届きやすいように。もっと自治会を活用して、各地区の意見が自治会で集約され、それが市政に反映されるようにしていただきたい。PTAや子供会や小さな団体なども同様に。（30代男性）
- ある議題に対して自由にももの言える環境があれば、市民も参加しやすいと思います。ただ何でも言えばいいのではなく、根拠を示すなど、参加者が納得のいくような会でないと時間の無駄になり、協力するものもいなくなると思います。（40代男性）
- 一方通行を双方向通行にしてほしい。（70代男性）
- 市役所の職員、自治会の役員に頼るだけでなく、参加して暮らしを良くする意識を持たないと、何も変わらないと思う。現実には人任せになっている。（40代女性）
- 市民参画してますます公にして「どうだい？今治はちゃんと市民の声を聞いているんだぜ？」っていうのを示すことはできると思う。ただ、やりすぎると無駄な議論と無駄な意見を収集してしまうだけになりかねないので、そこまで頑張らないで良いと思います。良い仕事と無駄な仕事は紙一重だと思うので、生活している市民だからこそその良くする案があると思うので、積極的にして欲しい。（30代女性）
- 当たり前であるが、積極的にかかわりたい人の意見が強く取り入れられていくと思う。行動を起こすことは消極的である人や、あまり意見を述べるつもりはない人なども、うちに秘めている思いがあるのではないかと、そうした人たちの考えもなんとか市政に反映できないだろうか。様々な社会的弱者の声を拾うことも行政の役割として重要であると思う。今回のアンケート程度なら、誰もが参加しやすいように思う。（50代男性）

（次のページへ続く）

(前ページの続き)

- 情報発信・情報共有の工夫が必要。市民に施策や取組状況の声が伝わりにくい。(広報かHP、SNS、ラジオ) 市民参画することで、本当にその参画された人の意見が取り入れられているのか、プロセスが見えないところの方が課題かも。(30代男性)
- 市民参画という言葉の意味は分かります。しかし一般市民にとって、お役所の仕事は固いものという意識がどうしてもあります。市役所の方々と一般市民が固くならずに語り合える場があればいいと思います。(30代男性)
- 皆が暮らしやすく、暮らしたい場所にする為に、皆が意見を出せる仕組み、機会を行政側がまずは積極的に提供することから始めることが大事だと思う。うまく回り始めれば、自然に機運が高まり、今治市民が自然に市民参画する素晴らしい場所になっていくと思います。(30代女性)
- おそらくどのような流れで施策等が進められているのか、そのロジックを知らない方が多いと思う。(私自身、できれば詳細が知りたい) まずはその仕組みを理解してもらった上で、どのようにすれば市民が参画しやすくなるかというアンケートを取る方がより妙案が浮かぶと思う。また、働いている方は平日は協議会等に参加できない方が多いと思う。しかしながら今治市の方向性や施策に興味がある方は多いと思う。このあたりをどのように解消するかが、市民参画への糸口になると思う。情報社会のメソッドをうまく使うことで解消されるのであれば、うまく活躍していただきたい。(30代女性)
- つまり「全員参加」ということなのだろうけど、「参画したがる者は「責任」はとりたがらないだろう。市の方も「あんたがたが口出したんだから」と不具合がおこれば投げる口実も出来よう。意見だけが増え、ゴールが不鮮明になる、結果時間だけがかかり成果がない、その原因を擦り付け合い争うだけ、そうなるのだけは避けたい。(80代以上女性)
- 市民参画と言うよりも今治市の方向性が見えません。方向性を出しよりよくする為に意見を出すのは良いが、個人が方向性を出すのに参加するのは違うと思います。全ては多数決です、個人の意見より多数が優先されるべき。(60代男性)
- 意見は多く聞けば聞くほど迷走しやすいので、基本構想は有識者の客観的な意見が必要だが、子育てや教育、防災は其々の苦労や地域によって違うため、もっと市民の意見が強くて良いと思う。(40代男性)
- 様々な職種や年代から参画できるようにしてほしいです。(60代女性)

今治市の 市民参画の現状と 市民アンケート結果



i.i.imabari!
★ i'm into imabari! ★